

会 議 録

- 1 会議名
令和7年度第10回吉川区地域協議会
- 2 会長挨拶
- 3 議題（公開・非公開の別）
 - ・報告事項（公開）
 - （1）会長報告
 - （2）委員報告
 - （3）事務局報告
 - ・自主的な審議（公開）
 - （1）自主的審議事項について
 - （2）その他
- 4 その他（公開）
 - ・次回地域協議会日程について
 - ・その他
- 5 開催日時
令和8年1月22日（木）午後6時30分から午後7時15分まで
- 6 開催場所
吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室
- 7 傍聴人の数
0人
- 8 非公開の理由
なし
- 9 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）
 - ・委員：山岸会長、薄波副会長、太田委員、斉藤委員、関澤委員、新部委員、
武藤委員
 - ・事務局：吉川区総合事務所 岩野所長、山本次長、渡邊市民生活・福祉グループ
長（教育・文化グループ長兼務）、道場総務・地域振興グループ副主幹
- 10 発言の内容（要旨）
【山本次長】
 - ・会議の開会を宣言

- ・委員 7 人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：新部委員

【山岸会長】

(挨拶)

【山本次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・それでは、議事に入る。まず、次第の 3 報告事項からになるが、(1)の会長報告は、いろいろ新聞でも出ているが、1 月 5 日にリージョンプラザで行われた上越市の新年祝賀会、賀詞交換会に行ってきた。頸北 4 区では、頸城区の会長とあいさつを交わさなかったが、あとは皆さん出席していた。この会で印象的だったのは、市議会議員の 2、3 人から消火栓についての話をいただいている。「一緒に頑張りましょう」という激励もいただいているので伝えておきたいと思う。
- ・それから 1 月 17 日には、まちづくり吉川の主催の新年を祝う会ということで、こちらにも出席しているが、1 月 5 日の市の賀詞交換会、祝賀会にも当然市長のあいさつがあったのだが、吉川区にいられたのあいさつで、たまたまテーブルも一緒にさせていただいたので、私は選挙中もあまり接点がなかったもので、まじまじと小菅市長を「どういう人なんだろうな」ということで観察させていただいた。そんな祝賀会であった。
- ・あとは、1 月 20 日に吉川区内の各団体長の皆さんが寄って、団体長会議がスカイトピア遊ランドであった。こちらにも市長に出席いただいて、この時は、1 時間 30 分以上いられたと思った。吉川区の新年を祝う会の時間よりももっと長くいただいで、宴席の中で協議会のいろいろな部分、ちょっと 2 つ 3 つ話をしている。後ほどまた、絡みのあることで、どういう話をしたかというのを伝えるが、以上 3 つの年が明けての会議、祝賀会等に出席したということ報告させていただいた。
- ・私の方は以上である。2 の委員報告になるが、皆さんの方で何かあったらお願いしたいと思うがいかがか。よろしいか。

(発言なし)

- ・なければ、事務局報告よろしく願います。

【山本次長】

- ・事務局から前回の地域協議会で答申を行った、上越市過疎地域持続的発展企画(案)について、地域政策課から方針決定の通知があったので報告をさせてもらう。

(資料 1「上越市過疎地域持続的発展企画(案)について(通知)」を読み上げる)

【山岸会長】

- ・今ほどの報告に関して、質問、意見を願います。いかがか。よろしいか。

(発言なし)

- ・次に、地域自治プロジェクトについて、所長を通して説明をして欲しいという話が来ているということなので、他区では既に定例会が終わって委員は皆さん聞いているという部分だが、これから所長の方から報告をいただく。願います。

【岩野所長】

- ・今ほど会長から話があったとおり、地域自治推進プロジェクトの進捗状況について報告をさせてもらう。
- ・このプロジェクトについては、「地域のことは地域で決めて、地域で実行する地域自治の仕組みの強化」という考えのもと、各団体に対するヒアリングや地域協議会委員へのアンケート調査を行い、現状や課題を把握するとともに、今後の方策案をたたき台として整理を行ってきた。
- ・吉川区の地域協議会委員の皆様にあっては、まず、このたたき台を基に、昨年 6 月 14 日に柿崎区で開催した「頸北地区地域協議会合同研修会」で意見交換を行い、更には、6 月 20 日に開催した第 3 回吉川区地域協議会の後に、担当する政策監、そして地域政策課の職員と「自治推進プロジェクトの制度設計」に向けた意見交換を行ったところである。
- ・また、当協議会では、地域政策課との意見交換後、7 月 14 日に開催した第 4 回地域協議会で委員の皆さんのお考えや意見を整理し、協議会としての共通認識を確かめたところである。
- ・市全体としては、吉川区以外の各地域協議会や市議会総務常任委員会所管事務調査等においても意見交換を重ねてきたところである。
- ・こうした中で、市では、令和 7 年度中に制度設計及び条例改正案の作成に着手する

というスケジュール案を示してきたが、委員の皆様からの多岐に渡るご意見をいただいたことや、その後、小菅市長が新たに就任したことを受け、現在、制度設計に関わる根本の方針協議を進めているところであり、少し時間を要する状況となっている。

- ・今後、制度設計方針が整理された段階で、改めて地域協議会の皆様に説明をさせていただきたいと考えているので、当初のスケジュールから遅れてしまい申し訳ないが、ご理解をよろしくお願いしたい。

【山岸会長】

- ・ということであるが、意見、質問はいかがか。よろしいか。

(発言なし)

- ・この後の自主審議の中でちょっとやりたいと思う。では、これまでの報告については、よろしいか。
- ・それでは、次第の4 自主的な審議に移る。(1)の自主的審議事項についてであるが、今ほどの所長から報告があったことなのだが、この地域自治プロジェクト、実は、地域独自の予算も入っているし、我々の今 1,200 円という費用弁償、交通費の部分とそれを変えるような提案があったが、そんなことも全部絡んでいて、それで今、報告があったように市長が代わったということもあって、市長が今どこまで把握しているのかというのを本人に直接聞きたいと考えている。それで、市長に会った時にはそれとなく1つ2つ伝えている。新年を祝う会では関澤委員も出席してもらって、消火栓の話をしっかりやっていただいた。そういうことで、市長と地域自治プロジェクトに関しては、一度、話をしようということをお願いしている。皆さんにも前から伝えているが、4 区合同の研修会の中で市長と話し合いをしたいということで、1月20日の団体長会議の場をつないだ。「ぜひやりましょう」という返答をいただいたので、何れかの日にそれは実現するとは思っている。ただ、その水引役として、4 区の正副会長8人と一回市長と下打ち合わせをしたいということもあって、実は今、4 区の正副会長会議の今年度の当番の柿崎区にやってもらっている。近々、柿崎区の吉井会長が直接市長に会う機会があるということで、その場面でしっかり詰めていただけるのかなということになっている。その先に、4 区全員の委員と市長との研修会という形を模索しているところである。そういうことで、日にちはまだまだこれから、市長もなられたばかりで、1月は特にこのようなあれやこれやの各区

のお付き合いでなかなか多忙であって、その上に会議もあり難しいということで、どの辺に当ててもらえるか分からないが、今のところそういうことをやっているの、そのうちに皆さんに報告したいと思っている。そんなことで、何れかの時期に、市長に、まず、どこまで把握しているのか、地域政策課がどういうふうな報告を上げているのか、市長としてどうされるのかという部分で、委員の方ではこういうことだということを皆さんの口から直接話していただけたらありがたい。そのように思っている。2月は無理かもしれないし、年度が変わってになるかもしれないが何れかのタイミングでお願いしたいと思っている。それぞれ準備をしてほしい。これに関して何か皆さんの方からあるか。よろしいか。

(発言なし)

- ・特に当区は、地域住民が心配している消火栓に関して、これはもう待った無しなのだが、これもやはり市長の専決というか、市長が良いよと言ってくれれば、それで前へ進めるのだが、検討という部分で終わっているので、これを更に押し進めたい。当区としては、先ほど言った4区の会長と市長の会合で、吉川区では、実はもうこれは待った無しだという話をさせてもらうつもりでいる。
- ・それで、道の駅と尾神岳観光という部分、これは先の団体長会議でも当然伝えてあるが、市長自体が13区を盛り立てるということを発言していただいているので、吉川区は、住民が望み、大事にしているのは、道の駅と尾神岳観光だということは、繰り返し伝えている。そんなことで、市単独ではなかなか限界があるのかとは思いますが、着実に進めていただきたいなという部分。これも話をしてあるが、具体的な話はまた改めて、道の駅活性化委員会、その場面を年度内にやるのか、年度代わってになるか分からないが、今のところ一切聞こえてこないが、年度内には元のアイスクリーム工場だった建物が案内所になるということははっきりしている。そういえば、この間の会議の時に、四季菜の所に、実は一番使用頻度の高いお手洗いが男女1個づつしかないの、それを早急に解決して欲しいという話をしている人がいたが、市長は公約の中に公衆トイレのことを何か言っていたのか、ひよっとしたらそれが先に動くのかも知れない。できれば、していただきたいのだが。そんな部分もあった。
- ・あと、学校の方の小中一貫とかという部分も含めて、なかなか実際に保護者の皆さんと会える機会がなかなかできないが、中学校の方は学校長の方から案内が来ていて、実はこれ、部活の関係も絡んでの話でお集りくださいということで話をいただいて

いる。その時に改めてお願いしたいとは思っている。小学校の方は、時折お願いしているが、保護者の皆さんも忙しいので、我々協議会とだけで、単独で会ってくれというのは、本当はお願いしたいが無理だとは思っているので、そういう機会を学校の何かの行事の中に織り込んでもらえれば、というのが一番やりやすいのかなと思ってそういうお願いをしているのだが、現時点ではそういう形になっている。なかなか一つ一つ全部が目に見えて前には進んでいないが、じわりじわりとやっている。

- ・ 関澤委員、何かあるか。

【関澤委員】

- ・ 先回にちょっと話が出たと思うが、地区の皆様と協議会委員の懇談会というのを設けたらどうかということで、過去には、公民館の分館があったから、そこへ委員が行ってできたが、今は分館が廃止になってしまってできないということで、何か上手い方法で各地域の皆様といろいろな課題について、お話を聞いたりしたいということで、懇談会というかそんなものをどうかと思っているが、どんなものか。

【山岸会長】

- ・ 前回にその話は聞いて頭に入っているが、ただ、これは私の考えであるが、2期前の時に、出張協議会という形で各分館単位で回った。その後に、公民館分館の廃止ということで回った。今回、もし、皆さんが望んで、分館単位になろうかとは思いますが、そういうことをしたいという意見が強ければ、多ければ、やる方向にはなるが、私が思うところ、行ってただ懇談するというのではなくていろいろな要望を聞いたとすると、聞き流すということが出来なくなると思う。我々、全戸アンケートまで取って、吉川区の住民の皆さんが何を大事にしたいかというのを分かっているわけで、個々の困り事とかそういうことを我々協議会として聞いて、どの手立てが取れるか、内容が見えないから何なのだが、総合事務所でやる地区別懇談会とはわけが違って、我々が「さあ集まってください。出向きますので、いろいろな意見を聞かせてください。」という形になって、果たして、まず参加率がどうかということと、もらった意見はどういうふうに対応できるのかという、ちょっとそこが不安である。私の方としては、それを承知して向かうかどうかを考えた上で、皆さんから判断いただきたいと思っている。

【関澤委員】

- ・ 時期的には、雪が消えて4月ごろからやるという形で進めてもらえればどうかと思う。やっぱり雪があると行くのも、皆さんに集まってもらうのも大変な形になろう

かと思うので、4月ごろからひと月に1地域というか、ひと月飛ばしても結構だが、そんな形でどうかなと思っているが、どんなものか。

【山岸会長】

- ・気持ちは分かるが、我々が出向いてやるということになると、総合事務所も一緒に来るので、行政懇談会に近い状況になる。ほとんど多分、我々に言うより、直接、総合事務所の皆さんとやる流れが前に出てしまうと思う。それを承知で行くかどうかという部分と、果たして地域協議会が行くから寄ってくれと言って、どれだけ参加率があるのかというのは、非常に私は不安に思っている。どなたかから、認識がされていないという話もあるくらいなので。だが、認識はある。これだけやってきているのだから。ただ、知らない人がいるかもしれないが、その知らない人に合わせる必要はない。我々が粛々とやることをやるべきで、そのために公募公選制の中で委員というのを拝命しているのだから。何をしているか分からない協議会だからどうのこうのという、そんなことに我々は動じる必要はない。やることはある。だから、関澤委員の意見は意見として承るが、皆さん、どうするか。皆さん、出向いて出張協議会という形で春から向かうようなことをどう思うか。賛成が多ければそのように事務局とも相談して、地域の皆さんとも調整を取らなくてはならないが。いかがか。今いる委員の皆さんにそれぞれ、とりあえず現時点での意見を伺って良いか。武藤委員から、お願いします。

【武藤委員】

- ・私は、そこまでしなくても良いのではないかと思う。市の懇談会もあることだし、住民の困り事とかも吸い上げているのであれば、町内会を通してでも良いのではないかと思う。

【新部委員】

- ・行政懇談会との住み分けというか、どう違うのかというのが、結局、我々というよりは、受ける方の皆さんが、そこまで分かって出てくるかというところが疑問なので、何とも言えないと思う。意見交換をしたいという気持ちも分かるが、受ける方がそこまで理解してくれているかどうかというのがあるので、やらなくても良いとは思いう。

【斉藤委員】

- ・私も同じで、まず集まりの具合の観点から見ると、まず集まらないだろうというものもあるし、さっき会長が言ったとおり、個々の問題を個別にどんどん挙げてもらった

時に、積み上げていくと今度対応が結構やっぱり大変になってくるのかと思う。地域協議会委員が何かの集まりに出た場合に地元から吸い上げる程度で、それでこういう会の場で発表するので良いのではないかというのが私の意見である。

【太田委員】

- ・私も必要ないのかなと思う。源地区は毎月のように町内会長の交流会をやっているし、総合事務所長を呼んで説明会もやってるし、多分そういう会を持っても結局そこへ集まって来た、例えば町内会長とか農家組合長の聞く意見と結局同じことになってしまうのではないかと思う。一般の人を集めて、あれもこれもといろいろ言われてもそれも大変かなと思うので、とりあえずいらないかなと思う。

【薄波副会長】

- ・私も今、現時点では行わなくても良いと思っているし、地区別懇談会で十分内容は吸い上げられているのではないかと思っている。それで協議会としては、それを来年度から進めるよりも、ほかにもっとやるべきことが一杯あるので、そっちを優先してやっていけたらと思っている。

【山岸会長】

- ・ということで、関澤委員の思いを皆さん良く理解の上で、なかなかそこまで現段階では踏み込む必要はないと、それよりも今、先ほど私が前もって言った、新市長を迎えてそれを協議会としてどのようにこの吉川に良い状況を引っ張ってくるかというのが我々の仕事であって、そちらの方でやらせてもらって、地域の意見はやはり総合事務所あるいは町内会長連絡協議会、それで広く拾ってもらって、我々委員としてはやはり、私もそれに一つ一つ対応できる部分もなかなか難しいのではないかと思っているので、気持ちは良く分かる、直接皆さんの意見を聞きたいというのは良く分かるが、今日のところはこれくらいでいかがか。また時期を見て、そういう熱い方々がもっと委員の中で出てきて、ぜひ出向いてやろうという話が起きるかもしれないが、今のところ皆さんの意見は、今回はやらない、ということでよろしいか。

【関澤委員】

- ・「地域協議会委員の顔も知らなかった」と言われる中に皆さんもいるのだ。ということは、やはり、公選で、選挙がなくて無投票で上がった我々ではあるが、やはり住民の皆さんの代表という位置付けからして、建前としては、皆さんとちょっと膝を合わせていろいろ討議するというのも良いかなと思って発言させてもらった。

【山岸委員】

・気持ちは皆さんに伝わっていると思う。任期が2年、ちょうど半分が終わるが、地域協議会だよりに関しては、我々、新規の委員になった時に1回、自己紹介をたよりに載せたと思う。改めて、「誰が委員になっているのだ」と言われてもそれは知らない人の話で、私等は別にすり寄る必要はない。公募公選制である以上は、委員を落とせるのである。「あの委員はだめだから私が出てやるわ」ということで、選挙になって落選すればその委員は辞めることになる、そういうのが公募公選制である。地域自治プロジェクトみたいに、人選について団体推薦で上がってきて、最後、策定案では公募委員が総数の半数以上になると総合事務所で審査するということである。団体推薦で上がった人が、自分の団体ばかり引っ張って、何も区の住民のことは関係ないではないか、心配していないではないか、となった時にどうするのか。そんな話も実は策定案には隠れている。だからその辺も含めて、早いところ市長に、私の考えだが、市長の考えが固まってしまう前に、28区の委員の皆さんが地域協議会をどうしたいのかということをもまずは意見を伝えたいと、そういう場を作りたいと、そう思っている。総合事務所と我々は一体だから、総合事務所は区に向いている。木田に向いていない。総合事務所と協議会是一体である。区の住民のために何が一番大事なのか、何を進めたら良いのか、何が足りないのか、ということで動いている。

・喫緊の課題は消火栓である。市は、頑なに今の時点では使わせないということだが、こんなことをしている内に本当に有事が起きたら、私はそれを本当に一番心配している。ならないことを祈っているが。ほかに皆さん意見ないか。

(発言なし)

・では、自主的な審議の中でいろいろ進めている部分があるが、また追々、事が動いたら皆さんに報告しながら意見を承った中で、更に進めていきたいと思っている。

・(2)のその他で委員の皆さんから何かあったらお願いしたい。よろしいか。

(発言なし)

・では、次第の5その他に移る。こちらのその他で皆さんの方から報告等あるか。よろしいか。

(発言なし)

・事務局の方からはいかがか。

【山本次長】

・事務局からはない。

【山岸会長】

- ・なければ、次回の協議会の日程であるが、今回は2月の第3木曜日となるが、2月はどうのような状況になるか分からないが、雪があるのが当たり前という月であり、また、8月は、本当は盆休みということで休会にする予定だったが、事情により定例会を開催した。なので、この2月は、特段皆さんにお諮りすることや市あるいは総合事務所から報告しなくてはならない事案が出ない限りは、お休みにさせていただきたいと思っている。正副会長会議で事務局と打ち合わせた後にそれを決定して、第3木曜日の10日前には皆さんへ案内が行くようになるかとは思いますが、そのようなことで進めさせていただきたいと思う。よろしく願います。
- ・それでは、閉会の挨拶を薄波副会長から願います。

【薄波副会長】

- ・本格的な雪の季節にもなるが、車のほか除雪の事故のないように気を付けてもらいたい。それでは、第10回吉川区地域協議会をこれで終了する。

11 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 025-548-2311 (内線 213)

E-mail : yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

12 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。